

## アンケートの質問に対する回答

中国中央病院 口腔外科 宇根秀則氏からの回答

少し専門的で難しい単語が出てきますがお許しください。

### ■口腔がんとアセトアルデヒドについて

体内でアルコール（エタノール）はまずアルコール分解酵素（ADH）によりアセトアルデヒドに分解されます。ついでアセトアルデヒド脱水酵素（ALDH）によって酢酸に分解されます。

このALDHの作用が弱い（ALDH2の活性が低い＝ヘテロ欠損型）とアセトアルデヒドが体内に蓄積することになります。

アセトアルデヒドと発がん性の関係ですが、たんぱく質と結合しやすくDNAに傷を付けると言われていています。疫学的な調査では血中アセトアルデヒドの濃度が高いと食道がん発生に重要な役割を果たすことが示唆されており、また食道以外の部位の発がんに対しても役割があると報告されています。食道と口腔は同じ上皮（扁平上皮）ですので口腔がんの発生に関わっていると考えられます。

### ■副流煙と口腔がんについて

副流煙に絞った危険性は、口腔がんに限った論文はありませんでした。ただし副流煙には主流煙より多くのニコチンやタール、窒素酸化物等の有害物質が含まれており、間接喫煙が口腔がんに影響しているのは明らかと考えます。

### ■口腔がんの好発年齢、予後因子と生存率について

好発年齢は40歳以上、男性は女性の2倍です。

予後に関わるのはリンパ節転移だと思います。所属リンパ節である顎下や頸部リンパ節の転移の有無が重要です。遠隔転移は比較的少ないです。

いわゆる5年生存率は癌の進行状況により異なりますが50から60%程度です。

(社) 広島県歯科衛生士会 福山・府中地区会 副会長 石井 明子氏からの回答

### ■マウスウォッシュの効果について

口臭・歯周病・口腔乾燥等、目的別であり、味の好みによって選べるように数種類の商品が販売されています。

口臭が気になる方が関連商品で「ぶくぶくうがい」をされた場合、爽快感もあり、好みの香料で一時的には口臭は消えるでしょう。しかし、口臭の原因までは消せないのではないのでしょうか。

歯周病についても根本の処置をしないままでは改善の見込みはありません。口腔乾燥は、顔の体操や唾液腺マッサージなどで改善する場合がありますが、口腔内の状態・全身の疾患などが原因の場合は様々な対応が必要になります。

やはり、原因を知り処置をした上で使用されるか、されないかを決めていただき、自信を持って日常生活を過ごすため、必要な場合は一時的な効果を期待して使用されてはいかがでしょうか。